

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.20	
	「3歳未満児保育」	26	3.88	
	「3歳以上児保育」	53	4.13	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.06	
	「健康・安全」	29	4.00	
	「子育ての支援」	18	3.94	
	「職員の資質向上」	9	4.00	
計	166	4.04		
総合 評価	今年度も子どもの人権・養護について改めて深く考える一年となり、その中で職員間で気づきや振り返りを共有する事ができ、職員の質の向上にも繋がったと思われる。今後とも継続して話しやすい関係づくりを意識して園としての質の向上していきたいと思う。ただ、事故が後半続いてしまい、職員の中でも部屋や園外でのこどもの見守りや人数確認等に課題が残った一年となった。安全面へのさらなる配慮職員の意識改革を行っていくことが求められていると感じるため、課題として上がっていることを一つひとつ丁寧に改善して行きたい。			

事業計画（今年度の重点目標）

項 目	内 容
職員・職員の家族との「信頼」の構築	面談(年2回)やケース会議などで意見や考えを出し合い、お互いに認め合いながら意欲ある職場環境づくりの推進に繋げていく
こども・高齢者・障害者との「信任」の構築	こどもの人権擁護を基本としたチェックリストの活用など、職員が自己の支援について振り返り、改善を行う(年3回)
地域の学校との「信頼」の構築	顔と顔の見える関係づくりに向け、学校行事への参加や園行事への招待等、「つながり」事業を通じた小学校との相互交流に参加する(施設長会年1回、担当者会年3回)